



高齢社会・暮らし・デジタルをつなぐ最新技術が一堂に「自宅で心臓リスクや睡眠時無呼吸症候群を見る化する新しい予防医療」も登場！「たま未来・産業フェア」開催

新型ウェアラブル心電計で、心疾患と睡眠時無呼吸症候群の“同時早期発見”が可能に。睡眠中という日常環境下での計測かつ、利用者負担を最小限に抑えた小型デバイスで心疾患・SAS早期検出手法の実証を開始

高齢化の進行や医療・介護負担の増大、デジタル技術の生活実装が社会課題となる中、地域発のイノベーションを暮らしにつなぐ展示会「第3回たま未来・産業フェア」が、2026年1月30日（金）・31日（土）の2日間、東京たま未来メッセ（東京都八王子市）で開催されます。

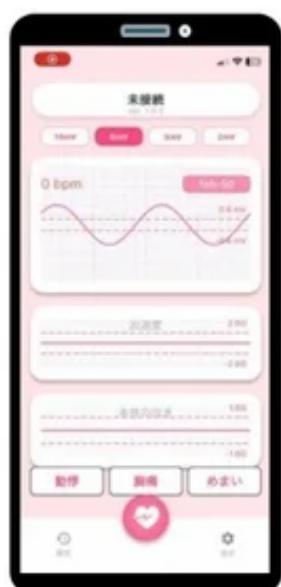
本展示会は、多摩イノベーションエコシステム促進事業の一環として実施され、「ものづくり」「GX・DX」「暮らし」の3分野を中心に、約150の企業・団体が参加予定。ビジネス関係者から地域住民まで、幅広い層に向けて、社会課題の解決につながる技術やサービスが紹介されます。

暮らしの中で進む「在宅×突然死予防×デジタル」への転換

NEW

自宅で簡単に

不整脈 × 睡眠時無呼吸症候群



心疾患や脳卒中などの循環器系疾患は、**自覚症状が乏しいまま進行するケース**も多く、早期発見や日常的な健康把握の重要性が指摘されています。一方で、通院や検査への心理的・時間的負担、結果への不安などから、「気になっていても検査に踏み出せない」という声も少なくありません。

こうした背景を受け、本展示会では、**自宅で、日常生活の中で心臓と睡眠の状態を把握する新しい予防医療の形**にも注目が集まっています。

その一例として、株式会社ココロミル（本社：東京）の新しいプロダクト「**自宅で心臓と睡眠の状態を見守る在宅ヘルスケアデバイス（名称未定・デモ版）**」が展示されます。

こちらは、小型の心電計を胸部に装着し、日常生活の中で心臓や睡眠・睡眠時無呼吸症候群(SAS)の状態を記録・アプリで可視化する最新デバイスです。

家族や地域で支える“新しい健康管理”的かたち

今回の展示内容の特徴の一つが、「**本人だけで完結しない健康管理**」という視点です。

高齢者本人だけでなく、配偶者や子どもなど家族が設定や記録の確認をサポートする前提で設計されたサービスや、分かりやすい説明、相談につなげやすい導線を備えた取り組みが紹介されます。

在宅で行う心電図や睡眠の記録や健康データの把握は、単なる自己管理にとどまらず、家族が安心を共有し、必要に応じて医療機関への相談につなげる「家庭内ヘルスケア」としての役割も期待されています。

「結果が怖い」気持ちに配慮した“安心設計”も重要なテーマに

健康状態を数値や記録で知ることには、早期発見というメリットがある一方で、「結果を知るのが不安」「生活が変わるのが怖い」といった心理的ハードルも伴います。

会場では、

- ・問題がなければ安心材料として活用できる考え方
- ・必要な場合のみ医療機関への受診を促す導線
- ・専門家による分かりやすい説明を前提とした設計

など、不安を増やさず、行動につなげる“安心設計”を重視した健康サービスのあり方も紹介されます。

会期中はリーディングプロジェクトの取組発表も実施

1月30日（金）には、多摩イノベーションエコシステム促進事業のリーディングプロジェクトに選定された企業・団体による取組発表が行われ、社会実装に向けた最新事例が共有されます。予防医療、ウェルビーイング、デジタル技術といった分野における、今後の地域社会のヒントが示される場となる予定です。

開催概要

イベント名：第3回 たま未来・産業フェア

日時：

2026年1月30日（金）10:00～17:00

2026年1月31日（土）10:00～16:00

会場：東京たま未来メッセ（東京都八王子市明神町3-19-2）

入場料：無料（事前申込制）

主催：多摩イノベーションエコシステム実行委員会

（東京都、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、（一社）首都圏産業活性化協会、（公財）東京都中小企業振興公社、（地独）東京都立産業技術研究センター）

昨年度来場者数：7,749人

取材・来場について

一般来場者の見学に加え、報道関係者の取材も可能です。

高齢社会における新しい予防医療のあり方や、地域発イノベーションの潮流を伝える題材として、ぜひご取材ください。（お問い合わせはココロミル ヤマダまたはオオクラまで：info@kokoromil.com）

ココロミルの想い | 「当事者が医療を動かす」社会へ

ココロミルは、当事者自身が医療の価値を“体験”として語ることこそが、最も強い社会的メッセージになると考えています。

今回も単なる展示ではなく、「予防と気づき」を自ら広める新しい医療共創モデルとしての発信を目指します。



ココロミル代表取締役社長 林 大貴 コメント

「高齢化が進む中で、健康管理は本人だけで完結するものではなく、家族や身近な人と支え合う形へと変わりつつあります。

本取り組みでは、日常の中で健康を把握することで、本人だけでなく家族にとっても「安心材料」となるような健康データのあり方を模索しています。

地域を実証の場とすることで、生活に根ざした、現実的に使われる予防医療の形を検証していきたいと考えています。」

関連リンク：

イベント公式サイト：

<https://tama-innovation-event.jp/>

ホーム心臓ドック®について：

<https://homeheart.health/products/homeheart-pro01>

株式会社ココロミル公式サイト：

<https://kokoromil.com/>



株式会社ココロミル

ー 「病気で後悔しない社会へ」をミッションに世界から突然死をなくすー

私たちは、自宅にいながら医療機関と同等の本格的な心電図チェックが手軽にできる「ホーム心臓ドック®」をはじめとする各種事業を展開しています。

長時間のデータ取得により、これまでの健診や人間ドックでは見逃されがちだった心疾患リスクも早期に“見える化”し、突然死などで「今まで救えなかった世界で1億人の命を救

う」ことを実現します。

また、取得したデータを通じて、多くの方々が自分自身や家族の健康状態を可視化し、健
康寿命やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させることを目指しています。

代表取締役社長：林 大貴

所在地 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目2番16号 菅野ビル2F

設立 : 2021年11月

事業内容 : ヘルスケア及び臨床研究事業

提供サービス : 〈個人向け〉不整脈、睡眠時無呼吸症候群(SAS)、睡眠の質、
ストレスの兆候を心電計を使って可視化する「ホーム心臓ドック®」

〈医療機関向け〉使い切りホルター心電計「eclat」

〈医療機関向け〉動物医療心電図モニタリング、ホルター検査

主要許認可 : 第二種医療機器製造販売業（許可番号：13B2X10584）

医療機器製造業（登録番号：13BZ201797）

高度管理医療機器販売業・貸与業（許可番号：5新保衛葉第162号）

ISO13485: クラス2

HP : <https://kokoromil.com/>

株式会社ココロミルのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchlp/company_id/98284